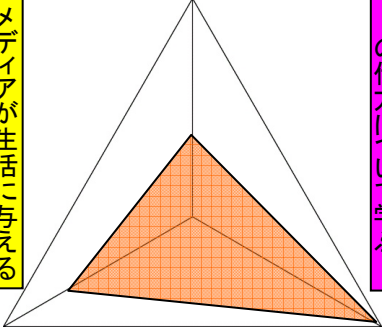


パッケージ名	ちよ作権って なんだろう (小学校3・4年, 1単位時間)
実践のねらい	・著作権を尊重して守るための正しい行動について知る。
この実践のメディアについて学ぶ <div data-bbox="213 304 609 376" style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> メディアの特性と適切なメディアの選択の仕方について学ぶ </div> <div data-bbox="156 412 220 698" style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content;"> メディアが生活に与える影響について学ぶ </div>  <div data-bbox="568 412 660 698" style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content;"> メディアが取り巻く社会での安全な行動の仕方について学ぶ </div>	実践の意図 <ul style="list-style-type: none"> ○ 想定する子どもの状況 <ul style="list-style-type: none"> ・調べたことをまとめ・伝える活動などで、有名キャラクターを用いて新聞やプレゼンテーションの資料を作ったり、調べ学習において、本からの引用なのか、自分の意見なのかがわからない書き方になっている場合がある。 ○ パッケージの目標 <ul style="list-style-type: none"> ・法律だから守るというのではなく、なぜ人のものを大事にしなければならないかを理解し、正しい判断力を培う。 ○ 留意点 <ul style="list-style-type: none"> ・著作権を尊重しようという気持ちと、見の回りには著作物がたくさんあるということに気づかせる。

受 = 情報の受け手としての知識を得る・配慮を知る
 送 = 情報の送り手としての工夫・配慮を知る

I. 同じ文章が書かれている詩を比べる(5分)

○ **道子さんとあゆみさんの詩を比べてみよう**

二つの詩を比べ、同じ文があることに気づかせる。

資料: 二つの詩の提示。

受 どちらが真似をしたのか、興味を持たせながら次の発問へつなげる。

II. どうして人のものをまねしてはいけないのか考える(10分)

○ **人のものを真似してはいけないわけを考えましょう。**

送 真似された側の気持ちを中心に話し合いを進める。

WS: 真似された人の気持ち

受 考え方や人の良さを取り入れてもっとよくなるとう場合と、人の作品を盗用して自分のものにした場合との違いについて、子どもたちの考えを十分に引き出すようにする。

III. 著作権ということを知る(10分)

○ **著作権について紙芝居を見よう。**

著作権について、教師の説話という形で進める。

紙芝居で読み聞かせを行う。

送 「～してはいけません」ではなく、使うためには相手に許可を得ることを押さえる。

IV. 身の回りの著作物を探す(15分)

○ **(C)マークを探そう。**

受 自分の著作物だと思うものを探させる。→日記・絵・作文など

受 (C)マークの説明をし、身の回りの(C)マークを探す。

WS(C)を見つけて書く

探したものを、紹介しあう。

V. 本時を振り返る(5分)

○ **本時の学習を振り返ろう。**

著作権クイズを行い、知識の定着を図る。

WS: 著作権クイズと感想の記入。